建築を見ることが好きだった父の影響で美術館などの空間に興味を持っていた。しかし、当初は情報学科で学んでおり、就活準備の際、電機メーカーにインターンで行き、そこでどうしてもしっくりこない自分に気づく。悩んだ末、建築学科に入り直すことを決意した。高松伸教授（現名誉教授）の下で学び、卒業後は高松伸建築設計事務所に入社。意匠設計事務所で働いた4年間、パートナーである構造設計者たちはとても頼りになる存在に感じられた。デザイナーとして建築に向き合うにつれ、モノの形のもとを決める「構造設計者の仕事」に徐々に魅かれていった。

### 川口衛構造設計事務所で学んだこと

構造を仕事にしたいと考えながら、高松伸建築設計事務所から独立した先輩の下でアルバイトをしていた際、川口衛構造設計事務所の紹介を受けた。入社後は学びながら設計をする日々。事務所代表の川口衛氏は温和な性格で声を荒げて怒ることは一度もなかった。IASSバレンシアで行われた川口衛展覧会に模型を持って同行したとき、オープンセレモニーで川口氏の盟友であるJ.シュライヒ氏が行った心温まるスピーチに感動した。仕事をする上でそのような存在はかけがいのないものだと感じたと言う。事務所では代々木体育館の耐震診断などを担当。その後、個人的に仕事を相談される機会が増え、村田龍馬設計所を設立した。

### 聞き役になり、作りたいものを汲み上げる

構造設計者として日ごろ心掛けているのは聞き役になるということ。対話を通して建築家の考えや背景、どんな建築を求めているかが分かってくると言う。事務所ではティータイムを設け、コミュニケーションを大切にしている。所員にはコンピューターから出てくる結果を鵜呑みにせず、どのような理屈で成り立っているかを考えてほしいといつも伝えていると言う。今後の目標は「面白い仕事に恵まれているので今の状態を継続させていきたい。構造設計は研究や実験と切り離せないもの。その両輪にバランス良く関わっていければよいと思う」と語った。

文・写真：町田有紀江

# 人 Human

## 村田 龍馬さん（村田龍馬設計所　代表取締役）

RYOMA MURATA

1978年8月25日生まれ　兵庫県出身　2001年京都大学工学部情報学科卒　2003年京都大学工学部建築学科卒　同年、高松伸建築設計事務所、2007年川口衛構造設計事務所を経て、2014年村田龍馬設計所設立。2017年東京大学農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 修士課程修了　一級建築士　構造設計一級建築士　主な著書は『構造設計を仕事にする』（共著、学芸出版社、2019年）